

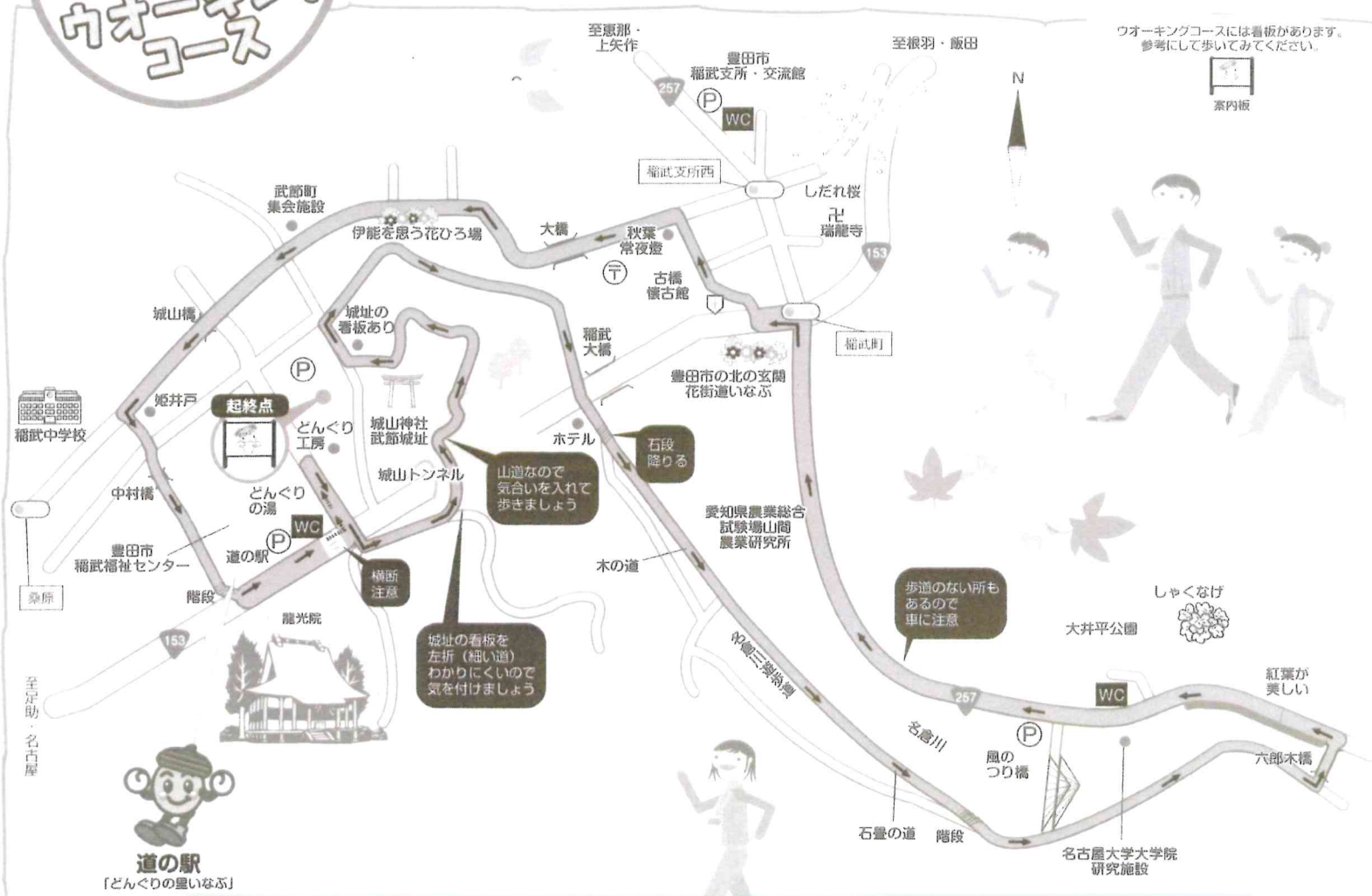
稲武地区 ウォーキング コース

全長4.0km

どんぐりの里コース



どんぐり工房 (起点) → 1.0km → 武節城址 → 3.0km → どんぐり工房 (終点)



見どころ

- **どんぐりの湯 どんぐり横丁**
どんぐりの湯は1階の花の温泉と2階の森の温泉があり、さまざまな湯を楽しむことができる。どんぐり横丁では、地元で生産された農産物を始め、米やブルーベリーをコンセプトにしたオリジナル商品が販売されている。
- **武節城址**
永正年間(1504-1521年)に田峰(設楽町)の菅沼定信によって築かれた。弘治2年(1556年)、信州の下条氏の侵略を受けたのち元龜2年(1571年)に武田信玄の軍門に下った。長篠の戦で敗れた武田勝頼が敗走のうちにこの城で休息し、梅酢湯を喫して甲州に帰ると伝えられる。
- **大井平公園**
稲武地区の紅葉の名所。郡農会が頌徳碑を建立し、古橋家が造成した公園。170年の杉の巨木の下に3種類700本のしゃくなげが見頃となる。
- **秋葉常夜燈**
豪農古橋家は酒造業を営み、この地域の政治の中心となった旧家である。その四代目義隆が、遠州秋葉神社に参詣する人々のために明和5年(1768年)に建立したものである。
- **姫井戸**
武節城落城の時、姫君が逃げ遅れ、敵の手にかかるよりはと、身投げした井戸。姫君は裁縫の名手であったことにちなみ、三日月の夜、豆腐に針を刺して井戸に納めると裁縫が上達するという。

ウォーキングの注意

- 長い距離・時間を歩くときは水分補給を忘れずに。
- 無理せず自分の体調に合わせて歩きましょう。
- ゴミはお持ち帰りください。
- 住宅の近くでは静かに歩きましょう。

大井平公園へは、豊田市稲武支所／どんぐりの湯駐車場もご利用いただけます